

平成 23 年 10 月 26 日

報道機関各位

**新潟県小千谷市役所**
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

**東日本大震災 被災者対応
冬季用品購入費の支援を行います**

小千谷市では、東日本大震災により当市に避難されている方に対して、冬季生活用品の購入に係る経費に対し、支援を行うこととしました。

これは、豪雪地である小千谷市で冬期間の生活に当たり、他所とは異なる生活用品の購入が必要となることから、避難されている方の負担軽減のために実施するものです。

■対象世帯

小千谷市内の仮設住宅（雇用促進住宅、市営住宅、民間借上住宅）及び親類縁者宅に避難されている被災者。（19 世帯、44 人）

なお、対象となる被災者は、現在小千谷市に被災者として登録されている者。

【対象世帯の内訳】

- | | |
|-------------|------------------------------|
| ・雇用促進住宅 小千谷 | 4 世帯、7 人 |
| ・雇用促進住宅 若葉 | 5 世帯、15 人 |
| ・市営住宅 | 3 世帯、7 人 |
| ・民間借上住宅 | 4 世帯、9 人 |
| ・親類縁者宅 | 3 世帯、6 人（内 2 世帯、4 名は小千谷市転入者） |

■支援金の額

- ・世帯割 1 世帯 20,000 円（暖房器具等購入費を想定）
- ・避難者割 1 人当 15,000 円（防寒着及び防寒長靴購入費を想定）

なお、除雪用品（スコップ等）についても、支給額に含むものとする。

支援金の原資は、市内の被災者向けに配分された小千谷市民義援金です。

■支援金の支給方法

- ・市内の被災者各世帯に通知後、申請により支給

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市総務課危機管理室 担当／新保・大淵

TEL：0258-83-3506 FAX：0258-83-2789 E-mail：bousai@city.ojiya.niigata.jp

平成 23 年 10 月 26 日

報道機関各位

**新潟県小千谷市役所**
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

東日本旅客鉄道(株)と防災協定を締結しました

小千谷市は、東日本旅客鉄道(株)信濃川発電所との共生策の一つとして提案していましたが、災害時における防災活動に関する協定を 10 月 3 日（月）に締結しました。

この協定は、災害から市民の生命、身体及び財産を守ることを目的とし、小千谷市管内及び信濃川で大規模林野火災や水難事故等の災害が発生した場合や、発生のおそれがある場合において、小千谷市が行う消防防災活動等に東日本旅客鉄道(株)信濃川発電所が、下記の活動について協力するものです。

■活動の協力事項

- ① 小千谷市管内で発生した大規模林野火災において、小千谷市消防本部の要請による新潟県消防防災ヘリコプターの消火活動に関して、調整池構内に臨時ヘリポートの設置、ヘリコプターの離着陸及び調整池からの消火用水の使用
- ② 信濃川での水難救助救急活動に対し、信濃川発電所構内において消防署現場指揮本部の設置及び救命ボートの離着岸
- ③ 豪雨災害発生時や信濃川の増水時に、信濃川発電所構内における信濃川水位監視活動

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市消防本部警防課 担当：村山・藤巻

TEL：0258-83-0237 E-mail：syobou-keibou@city.ojiya.niigata.jp

平成23年10月26日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号**平成23年夏季における小千谷市役所庁舎の節電結果について**

東北電力管内における夏季の計画停電を避けるため、計画的な節電とピークカットに取り組んできました。小千谷市役所庁舎における今夏の消費電力量は昨年比34%削減という結果でした。

電力使用量のピークである夏季対策は終了しますが、節電は地球温暖化対策として重要であることから、引き続き可能な範囲で節電に取り組んでいきます。

■取組期間・時間

7月1日（金）～9月9日（金）の平日 午前9時～午後8時

■取組目標

平成22年同時期比 15%削減

■市役所庁舎で行った取組み

- 冷房設定温度28℃の徹底
- 冷房時間の短縮 8:00～19:30 → 8:30～17:00
- 契約電力の変更 210kW → 180kW
- 電気ポットの使用制限
- 事務室照明を概ね1/2消灯
- パソコンの省電力設定
- ピーク時間帯における大量のコピー・印刷の自粛
- エレベーター使用の自粛
- 市民ホールにおいてゴーヤやアサガオでグリーンカーテン実施

■節電結果

別紙のとおり

本件に関するお問い合わせ先／総務課庶務管財係 担当／杵淵

TEL: 0258-83-3506 FAX: 0258-83-2789 E-mail: soumu-sm@city.ojiya.niigata.jp

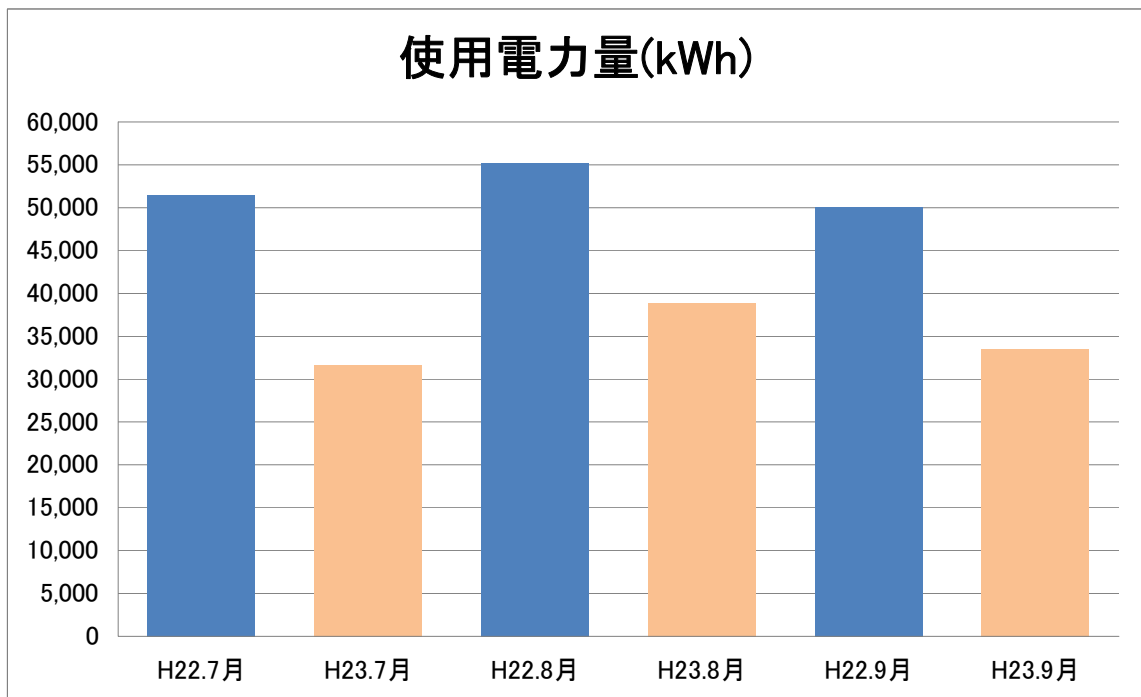
節電結果資料

【別紙】

H22年	契約電力(kW)	最大需要電力(kW)	使用電力量(kWh)	電気料(¥)
7月	207	195	51,457	921,952
8月	203	203	55,240	994,172
9月	210	210	50,103	939,506
7~9月計			156,800	2,855,630

H23年	契約電力(kW)	最大需要電力(kW)	使用電力量(kWh)	電気料(¥)
7月	180	163	31,573	657,715
8月	180	166	38,902	778,523
9月	180	168	33,577	709,133
7~9月計			104,052	2,145,371

対昨年比	H23/H22	最大需要電力(kW)	使用電力量(kWh)	電気料(¥)
		-16.41%	-38.64%	-264,237
		-18.23%	-29.58%	-215,649
		-20.00%	-32.98%	-230,373
			-33.64%	-710,259



平成 23 年 10 月 26 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

**ごみ処理の有料化により
ごみの減量化が進んでいます**

小千谷市では、4 月 1 日からごみ処理の有料化を実施し 6 ヶ月間を経過しましたが、家庭から出されるごみの量は減少しています。

昨年度同期と比較して、家庭系燃やすごみで 22.3%、家庭系埋立ごみ（不燃粗大ごみを含む。）で 29.5%減少しています。また、古紙回収量は 8.7%増加、生ごみ処理機器の購入も大幅に増加し、リサイクルが進んでいます。

ごみ処理量等の実績（平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日までの 6 ヶ月間）

■燃やすごみ

- ・家庭系燃やすごみ 2,938 トン（昨年度同期対比 22.3%減）
- ・事業系燃やすごみ 2,696 トン（昨年度同期対比 0.9%増）

■埋立ごみ（不燃粗大ごみを含む。）

- ・家庭系埋立ごみ 287 トン（昨年度同期対比 29.5%減）
- ・事業系埋立ごみ 98 トン（昨年度同期対比 18.3%減）

■古紙回収

- ・350 トン（昨年度同期対比 8.7%増）

■生ごみ処理機器購入費補助台数

- ・堆肥化容器 147 台（昨年度 1 年間の補助台数 35 台）
- ・電動式生ごみ処理機 37 台（昨年度 1 年間の補助台数 29 台）

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市市民生活課 担当／神林・島田

TEL : 0258-83-3509 FAX:0258-82-8664 E-mail : shimin@city.ojiya.niigata.jp